キャラクター名
栗原 愛良（くりはら あいら）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ モルフェウス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェント
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	生誕	衝動	憎悪	初期侵食率	38 %
出自	兄弟	経験	平凡への憧れ	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	5	1	3		3	12
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	23
行動値	25
(非装備時)	25
戦闘移動	30
全力移動	60

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ショットガン(スラッグ)	射撃	12r+4		5		常備化7(ICp80)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1	0	0	見た目は普通の服

合計装甲：	1	合計回避：	0

所持品	
カジュアル	
制服	
携帯電話	
思い出の一品	
コネ:UGN幹部	
コネ:情報屋	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
No.05 実験体	P	N		
兄：栗原 鉄雄（くりはら てつお）	P 慕情	N 劣等感		
玉野 椿	P 尊敬	N 脅威		
相沢 志乃（あいざわ しの）	P 友情	N 嫉妬		
哲徳院 境内(ツトクイン ケイダイ)	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	12	残り財産P：	0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト・エンジェルハイロゥ	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：クリティカル値-Lv(下限7)								
死点撃ち[3]	3	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：攻撃力+[Lv×3]								
マスヴィジョン[3]	3	4	メジャー		-	対決	100%	
効果：攻撃力+[Lv*5],シナリオ中3回								
ベネトレイト[1]	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：装甲無視,判定D-1								
オプティカルレンズ[3]	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：攻撃力+【感覚】,シーンLv回								
天使の絵の具	1	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果：大気中に任意の映像を投影する								
スポットライト	1	-	メジャー	視界	※	自動	-	
効果：任意の場所に任意の光源を設置する								
折り畳み[10]	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：物品を紙状に折りたたんで隠す[Lv個]								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

●栗原 愛良（くりはら あいら）
ShadowRun／side:UGN chapter2 GM:聖岳生馬 様 向けで誕生.
使用ルールブック：基本1, 2, EA, IC, BC

・栗原 鉄雄（くりはら てつお）
愛良の兄で優秀なUGNエージェントだったが，FHの罠にはまりジャーム化してしまう.
モルフェウス／サラマンダー

・相沢 志乃（あいざわ しの）P友情/N嫉妬
兄の同級生だった人(一般人)．私の事をよく面倒みてくれた姉のような存在.
いつも楽しそうに学校での事などを話をしてくれていた．しかし大災害以降は連絡が取れていない.

●参加
2021/7/4 ShadowRun／side:UGN chapter2 GM:聖岳生馬 様

●プロフィール(暫定版)
任務中に他界してしまった兄さん.
私と違って優秀なUGNエージェントだったけど，ジャーム化によりこの世から去ってしまった.
あれから三年．当時チルドレンだった私も今ではエージェントだ.
もちろんまだまだ当時の兄さんの足元にも及ばない.
優しかった兄さんを亡くした最初の一年は全ての意欲を失い何もする気が起きなかった.
二年目になりやっと心の整理が付いてきてUGNの任務に打ち込む事で気を紛らわせられるようになった.